



街道浪漫今庄宿 よみがえる宿場の交流

9月18日、北国街道の宿場町として栄えた今庄宿を再現する街道浪漫今庄宿2011が、JR今庄駅周辺で開かれ、大勢の家族連れらで賑わいました。街道沿いには、おろしそばや茶めし、地酒など約40の模擬店が出店。訪れた人は、風情が残る町並みを見物しながら、今庄自慢の味わいを堪能しました。

また、夜叉ヶ池の伝説をテーマにした恒例の蛇踊りが公德園前で披露されたほか、昭和会館では今庄機関区のジオラマも展示され、宿場の交流を肌で感じる一日となりました。

南越前町産業物産フェア2011 町の魅力が勢ぞろい！

9月24日、25日の両日、南越前町産業物産フェア2011がレインパーク南条で開かれ、町内外から約15,000人が訪れました。これは、町の産業や物産の魅力を感じてもらおうと開催されたもので、昨年に続いて2回目となりました。

会場には、町内の事業所や特産品生産組合、友好提携を結ぶ岐阜県羽島市や近隣商工会など56団体による模擬店や企業PRテントが出店。訪れた人たちは、おろしそばやかに鍋などの「食」や、ハス染め糸のランチョンマツトづくりなど「技」にふれ、あらためて町の魅力を感じる日となりました。

南条地区敬老会

おじちゃん、おばあちゃんいつもありがとう

9月30日、南条勤労者体育センターで南条地区敬老会が開かれ、約380人の75歳以上の方が参加しました。

式典では、米寿の方12人と金婚のご夫婦2組にお祝い品を贈呈。川野町長から「いつもでもお元気で」「これからも仲良く暮らしてください」とのお祝いの言葉に、参加者からは大きな拍手が送られました。式典後には懇親会が行われ、南条第二保育所の4・5歳児による太鼓や踊り、民生委員によるスコップ三味線などが披露されると、孫に手を振る姿や、手拍子を打って楽しむ姿が見られました。また、おいしいお弁当や気の合う仲間との歓談など楽しい時間を過ごしました。

日本一安全・安心なまちづくり大会2011 絆くきみとすつとなかま

10月2日、南条文化会館で日本一安全・安心なまちづくり大会2011が開催されました。この大会は、越前市と南越前町とをつくる、日本一安全・安心な「越前市・南越前町」まちづくり運動協議会が開いたもので、町内外から約150人が参加しました。

「お互いに助け合う気持ちを育てることが大事。全力で取り組むことを宣言します」と大会宣言が行われ、犯罪の起きにくいまちをつくりまします。などまちづくりの指針を確認し、安全・安心なまちづくりを誓いました。

安全安心なまちづくり標語(最優秀賞)

あいさつと笑顔の力で町づくり
(南条小 堀江晴香さん)



交通安全グラウンドゴルフ大会 交通ルール守って楽しくプレー

9月27日、越前交通安全協会南越前町支部主催の交通安全グラウンドゴルフ大会が、今庄365スキー場で開かれ、町内の高齢者を中心に74人が参加しました。

この大会は、秋の交通安全県民運動の一環として、グラウンドゴルフを通して交通ルールの理解と交通安全意識を高めてもらおうと行われたものです。コースには一時停止などの交通安全にちなんだ特別ルールが設けられているほか、反射材の着用を呼びかけようと参加者の靴には反射シールが貼り付けられました。参加者は、楽しみながら交通安全意識を高めたようでした。

サル被害対策研修会 サルにもマケズ…

9月29日、リトリートくらでサル被害対策研修会が開催され、町内外から約100名が参加しました。

研修会では、農林水産省農作物野生鳥獣被害対策アドバイザーの中田彩子氏の「地域で取り組むサル対策について」と題した講演が行われ、農作物を守るためには電気柵などの被害防止策以外の方法がないことや、花火などを使った「追い払い」を複数の人間で行うことが有効であることなどが紹介されました。講演後、古木区の畑でロケット花火発射装置「ひとし君」の作り方や使い方などを実地研修。参加者は真剣な表情で取り組みました。



南越前町の《宝》ウォッチング 万葉の道を歩く 山中峠

10月8日、まちなかの名所を訪ねる《宝》ウォッチングが南越前町商工会むらおこし研究会の主催で行われ、町内外から80名が参加しました。

秋晴れのこの日、参加者らはバスに乗り込み山中峠の今庄側登り口へ移動。歩き始めて30分ほどで峠に到着する参加者もみられました。河野側へ下りる途中、林道から望む日本海を横目に参加者はそれぞれのペースでハイキングを楽しみました。ハイキングのあとは、北前船主の館石近家を見学。河野シーサイド温泉ゆづばえで疲れを癒し、海の幸を味わいながらアトラクションを楽しみ、秋の一日を過ごしました。



南越前町戦没者追悼式 忘れない尊い犠牲 活力に満ちた地域社会に

10月14日、南越前町戦没者追悼式が、南条文化会館で約280人が参列し行われました。まず、戦没者英霊名簿の奉てんが執り行われ、全員で黙とうを捧げました。次いで、川野町長が「今日の私たちの豊かな生活は、心ならずも命を落とされた、多くの方々の犠牲のうえに成り立っていることを忘れてはなりません。先の大戦から学び取った多くの教訓を心に刻み、次の世代に語り継ぐことを使命とし、安心して活力に満ちた地域社会の実現に向け、全力を尽くすことを誓います」と式辞。参列した遺族らは、祭壇に次々と献花を行い、手を合わせ、戦没者の冥福を祈りました。

